

設置計画の概要

事 項	記 入 欄
事前相談事項	事前伺い
計画の区分	学部の学科の設置
フリガナ設置者	コクリツダイガクホウジン カガワダイガク 国立大学法人 香川大学
フリガナ大学の名称	カガワダイガク 香川大学 (Kagawa University)
新設学部等において養成する人材像	<p>【経済学部経済学科】 ①【養成する人材像】 複雑化・混迷化する世界情勢、グローバル化が進行する社会経済や企業経営、人口減少の中で地域創生が求められる地域など直面する新たな課題の探求・解決に向けて、経済・経営に関する多角的な専門知識を活かし、他者とコミュニケーションを通じて協働しながら、主体的に考え行動する人材を育成する。</p> <p>②【育成する力】 * 専門基礎力 経済学、経営学の基礎知識を有し、経済経営・地域に関わる定量・定性データを分析できる力 * 複眼的思考力 経済学、経営学の異なる学問分野の基礎を身につけ、多角的な視点から経済経営上の課題や地域課題を思考する力 * 地域理解力 地域社会の現状と課題に関心を持ち、自己と関連づけて問題を発見し、探求することができる力 * 異文化理解力 日本とは異なる外国の文化、歴史、宗教、生活様式などを理解し、多様な価値観を認める力 * チャレンジ精神(行動力) イノベーション創出やビジネス改善などの経済経営上の課題、あるいは地域課題に対して、既存概念にとらわれず進んで取り組む力 * 課題探究・解決力 上記5項目を兼ね備えて経済経営上で、地域で課題を探求し、解決する力 * コミュニケーション力 課題探究・解決に必要な、相手の主張を理解し、自らの見解を発信できる力</p> <p>(学修する内容と身に付ける力(コース別)) 〈経済・政策分析コース〉 経済学の理論的・実証的手法を体系的に修得し、複雑な経済現象の本質を論理的思考に基づき理解する能力を養う。その上で、幸福な社会の実現に向けた提言を行うための問題発見・解決能力、コミュニケーション能力を身につける。 〈会計・ファイナンスコース〉 会計学総論や株式会社会計などの会計学関連科目、金融論や経営財務論などの金融関連科目を学修する。さらに、会計情報を読み解く基礎から応用に及ぶ能力と、金融や保険に関する深い理解力と洞察力を身につける。 〈経営・イノベーションコース〉 戦略と組織、マーケティング、イノベーション、企業の社会的責任など、経営学に関わる幅広い内容を学修する。また、ビジネスの視点から問題解決にあたり、新たな価値を創造する上で必要となるコミュニケーション能力、課題探究・解決能力を身につける。 〈観光・地域振興コース〉 経済学・経営学をベースに、観光学、まちづくり論等により地域振興・経済活性化に向けた観光資源等の活用方策を考える基礎的能力を身に付けます。さらに、デジタルマップを用いた調査法やフィールドワークにより、地域振興に必要な実践的能力を身につける。 〈グローバル社会経済コース〉 経済活動の国際的展開と多様な社会現象に対応するため、経済学をベースに世界各地の経済や社会・文化を幅広く学修する。その上で、世界を舞台に活躍するのに必要な問題解決力とコミュニケーション能力を身につける。 〈総合経済コース(夜間主コース)〉 経済(経営)学部分野を、教育内容の基礎として、経済(経営)学の多様な領域を幅広く学修する。さらに、法学関係科目の学修を可能とする。広汎な諸分野を学修することで、実務的必要性に対応する能力を身につける。</p> <p>③【卒業後の進路等】 〈経済・政策分析コース〉 公務員 自治体・企業の調査分析部門 〈会計・ファイナンスコース〉 金融機関 企業における経理部門・財務部門 会計ファイナンスの能力を生かせる官公庁(国税庁など) 〈経営・イノベーションコース〉 民間企業(製造、卸・小売業) 官公庁・金融機関等における創業支援・経営支援の業務 起業</p>

	<p>〈観光・地域振興コース〉 公務員(観光振興、地域振興) 公益法人等(JA、生協、商工会議所) 観光業、地場産業等の企業</p> <p>〈グローバル社会経済コース〉 国内外の企業(国際部門など) 公益法人(JICAなど)、NGO 新聞社などのメディア</p> <p>〈総合経済コース(夜間主コース)〉 在学時に就業している企業・団体における昇任や専門性を生かせる職種への配置換え 専門性を生かした他業種、他企業・団体への転職 専門性を生かした起業 社会人向大学院への進学</p>
<p>既設学部等において 養成する人材像</p>	<p>【経済学部】 ①【養成する人材像】 経済や経営に関する専門知識を活かし、多様な価値や文化に対する深い理解を背景として、国内外で活躍できる人材を育成する。 ②【育成する力】 専門分野に対する優れた能力:専門知識(理論と応用) 課題を発見し、探究するための専門的知識を学ぶ。さらに知識を活かすには実務的な処理能力をかねそなえている必要がある。理論と応用が有機的に結合した実行力のある人材を育てる。 経済人としての幅広い視野:コミュニケーション力、異文化理解力 現代社会が求める経済人は、柔軟な視野にたち、コミュニケーション能力をそなえ、社会と積極的にかかわることのできる人材である。世界の諸文化について幅広い知識を持ち、多様な価値観を理解できるようにする。 情報を分析し発信する能力 今日の社会は複雑化した経済情報、国境を越えた世界中のあらゆる情報に満ちあふれている。必要な情報を迅速かつ的確に収集し、分析する能力を身につけるだけでなく、自ら情報を発信することができるようにする。 ③【卒業後の進路等】 各学科の③に記載</p> <p>【経済学科】 ①【養成する人材像】 複雑多様化する現代経済を理論的・実証的・数量的に解明し、直面する諸課題に対して、国際的視野と科学的視点から、実行可能な政策を提言できる人材を育成する。 ②【育成する力】 ミクロとマクロの視点から市場経済を適切に把握し、暮らしと経済に関わる諸問題を発見・分析する論理的思考能力を養成する。市場経済の有効性と限界とを見極め、幾重にも折り重なる経済社会の全体像を視野に入れながら、政策分析能力および政策立案能力を養成する。情報化社会に必要な経済統計データ分析と高い情報処理能力を養成する。 ③【卒業後の進路等】 公務員(国・地方自治体の政策立案部門)、大学院進学、金融機関の調査・管理部門、企業の統計調査部門</p> <p>【経営システム学科】 ①【養成する人材像】 企業経営に求められる知的能力(企業の存続・成長の基礎を確立するために差異化を積極的に創造する必要がある、それを生み出す条件として専門化された知識やスキル)を身につけた人材を育成する。 ②【育成する力】 経営学の原理や歴史の学習によって得られる企業や経営についての本質的理解を踏まえ、経営の問題を単に企業内部の問題として捉えるだけでなく、それを取り巻く社会や環境にまで視野を広げて学び、経営の現代的な課題を多様な角度からアプローチし、解決できる能力、広範囲かつ堅実な経営基礎知識を習得しながら企画・分析能力、問題解決能力、プレゼンテーション能力、情報処理能力、ビジネスの状況を判断する際に不可欠な会計情報を作成・分析・活用できる能力を育成する。 ③【卒業後の進路等】 企業の経営管理部門、マーケティング部門、会計・経理部門、公務員(国税専門官等)</p> <p>【地域社会システム学科】 ①【養成する人材像】 社会に対する深い理解力と分析力を備え、広く国内外のビジネスシーンで活躍できる人材を育成する。 ②【育成する力】 世界各地の多角的で総合的な研究を通じて国際感覚とコミュニケーション能力を養う。実際の地域の現象を素材として、持続可能な産業としての観光学について学修する。フィールドワークや外国語研修を通じて実践に適応できる能力を育成する。 ③【卒業後の進路等】 企業等の貿易部門、旅行者など観光関連産業部門、公務員(観光振興関係部門)</p>
<p>新設学部等において 取得可能な資格</p>	<p>【経済学部 経済学科(昼間コース)】 ・高等学校教諭一種免許状(商業) ① 国家資格、② 資格取得可能、 ③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要</p>
<p>既設学部等において 取得可能な資格</p>	<p>【経済学部 経済学科及び経営システム学科】 ・高等学校教諭一種免許状(商業) ① 国家資格、② 資格取得可能、 ③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要</p> <p>【経済学部 地域社会システム学科】 ・中学校教諭一種免許状(社会)、高等学校教諭一種免許状(地理歴史、公民) ① 国家資格、② 資格取得可能、 ③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要</p>

新設学部等の概要	新設学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期	専任教員		
							学位又は称号	学位又は学科の分野		異動元	助教以上	うち教授
	経済学部 [Faculty of Economics]	経済学科 [Department of Economics] (昼間コース)	4	240	3年次 20	1,000	学士 (経済学)	経済学関係	平成30年4月 3年次 平成32年4月	経済学科(昼間コース) 経営システム学科(昼間コース) 地域社会システム学科(昼間コース) 新規採用 計	14 18 12 5 49	9 9 6 0 24
既設学部等の概要	既設学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期	専任教員		
							学位又は称号	学位又は学科の分野		異動先	助教以上	うち教授
経済学部	経済学部	経済学科(昼間コース) (廃止)	4	100	3年次 7	414	学士 (経済学)	経済学関係	平成10年 4月	経済学科(昼間コース) 退職 計	14 3 17	7 3 10
		経営システム学科(昼間コース) (廃止)	4	105	3年次 8	436	学士 (経済学)	経済学関係	平成10年 4月	経済学科(昼間コース) 退職 計	18 0 18	8 0 8
		地域社会システム学科(昼間コース) (廃止)	4	75	3年次 5	310	学士 (経済学)	経済学関係	平成10年 4月	経済学科(昼間コース) 退職 計	12 2 14	6 2 8
		経済学科(夜間主コース) (廃止)	4	6	—	24	学士 (経済学)	経済学関係	平成10年 4月	経済学科(夜間主コース) 退職 計	14 3 17	7 3 10
		経営システム学科(夜間主コース) (廃止)	4	8	—	32	学士 (経済学)	経済学関係	平成10年 4月	経済学科(夜間主コース) 退職 計	18 0 18	8 0 8
		地域社会システム学科(夜間主コース) (廃止)	4	6	—	24	学士 (経済学)	経済学関係	平成10年 4月	経済学科(夜間主コース) 退職 計	12 2 14	6 2 8

【備考欄】

教育学部 入学定員

人間発達環境課程 (△40) ※平成30年4月学生募集停止(3年次編入学は、平成32年4月学生募集停止)

医学部 入学定員

臨床心理学科(新設) 20

工学部(改組)

工学部(改組前) 入学定員

安全システム建設工学科 60

電子・情報工学科 80

知能機械システム工学科 60

材料創造工学科 60

(3年次編入) (20)

計 260(20)

創造工学部(改組後) 入学定員

創造工学科 330

(3年次編入) (20)

計 330(20)

※平成29年4月事前伺い予定

大学院農学研究科(改組)

(改組前) 入学定員

生物資源生産学専攻 25

生物資源利用学専攻 25

希少糖科学専攻 10

計 60

(改組後) 入学定員

応用生物・希少糖科学専攻 60

計 60

※平成29年4月事前伺い予定

教育課程等の概要(事前伺い)

(経済学部経済学科(昼間コース))

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
主題科目	人生とキャリア	1・2①②③		1		○									兼16	
	小計(1科目)		0	1	0				0	0	0	0	0	0	兼16	
	現代社会の諸課題	歴史のなかの21世紀	1・2①②③④		1		○			1	1					兼5
		グローバル社会と異文化理解	1・2①②③④		1		○			3	2	1				兼16
		情報とコミュニケーション	1・2①②③④		1		○									兼3
		文化と科学・技術	1・2①②③④		1		○									兼16
		生命と環境	1・2①②③④		1		○			1						兼7
		人間と健康	1・2①②③④		1		○									兼37
	小計(6科目)		0	6	0				5	3	1	0	0	0	兼81	
	地域理解	地域理解(基礎)	1②④		1		○									兼2
地域理解(講義)		1・2①②③④		1		○			1						兼11	
地域理解(実践)		1・2①～②③～④		2		○			2	1					兼16	
小計(3科目)			0	4	0				2	1	0	0	0	0	兼23	
学問基礎科目	書物との出会い	1・2①～②		2		○				2					兼12	
	自然科学基礎実験	1・2③～④		2		○									兼5	
	哲学	1・2①～②③～④		2		○									兼2	
	論理学	1・2①～②		2		○									兼1	
	倫理学	1・2①～②		2		○									兼1	
	芸術	1・2①～②		2		○									兼3	
	心理学	1・2①～②③～④		2		○									兼5	
	社会学	1・2①～②③～④		2		○									兼3	
	教育学	1・2①～②		2		○									兼1	
	歴史学	1・2①～②③～④		2		○				1					兼2	
	文学	1・2③～④		2		○									兼1	
	言語学	1・2③～④		2		○									兼1	
	法学	1・2①～②③～④		2		○									兼3	
	政治学	1・2③～④		2		○									兼1	
	経済学	1・2①～②		2		○				1					兼1	
	経営学	1・2③～④		2		○									兼1	
	数学	1・2①～②③～④		2		○									兼12	
	地学(講義)	1・2①～②		2		○									兼4	
	地学(実験)	1・2③～④		2				○							兼3	
	物理学(講義)	1・2①～②③～④		2		○									兼8	
	物理学(実験)	1・2①～②③～④		2				○							兼6	
	化学(講義)	1・2①～②③～④		2		○									兼4	
	化学(実験)	1・2①～②		2				○							兼3	
	生物学(講義)	1・2①～②③～④		2		○									兼13	
	生物学(実験)	1・2①～②		2				○							兼2	
	地理学	1・2③～④		2		○					1				兼1	
	統計学	1・2①～②		2		○				1					兼1	
	情報科学	1・2③～④		2		○									兼2	
医学	1・2③～④		2		○									兼16		
看護学	1・2①～②		2		○									兼5		
小計(30科目)			0	60	0				1	4	1	0	0	0	兼113	
全学共通科目	大学入門ゼミ	1①～②		2				○		3	9	2				
	小計(1科目)			2	0	0				3	9	2	0	0		
	情報リテラシー	1①～②③～④		2			○			1						
	小計(1科目)			2	0	0				1	0	0	0	0		
	(既修外国語)	Communicative English I	1①～②		2		○			1		1				兼20
		Communicative English II	1③～④		2		○			1		1				兼20
		Communicative English III	2①～②		1			○				1				兼28
Communicative English IV		2③～④		1			○		1						兼27	
Academic English I	3①～②		1			○								兼3		

コミュニケーション科目		Academic English II	3①～②		1			○									兼4	
		小計 (6科目)		0	8	0					1	0	1	0	0		兼35	
	初修外国語		ドイツ語Ⅰ	1①～②		2			○									兼8
			ドイツ語Ⅱ	1③～④		2			○									兼8
			ドイツ語Ⅲ	2①～②		1			○									兼5
			ドイツ語会話Ⅲ	2①～②		1			○									兼1
			フランス語Ⅰ	1①～②		2			○		1	1						兼2
			フランス語Ⅱ	1③～④		2			○		1	1						兼2
			フランス語Ⅲ	2①～②		1			○		1	1						
			フランス語会話Ⅲ	2①～②		1			○		1	1						
			中国語Ⅰ	1①～②		2			○			1						兼4
			中国語Ⅱ	1③～④		2			○			1						兼5
			中国語Ⅲ	2①～②		1			○									兼4
			中国語会話Ⅲ	2①～②		1			○									兼1
			韓国語Ⅰ	1①～②		2			○		1							兼2
			韓国語Ⅱ	1③～④		2			○		1							兼2
	韓国語Ⅲ	2①～②		1			○									兼2		
	韓国語会話Ⅲ	2①～②		1			○									兼1		
	小計 (16科目)			0	24	0				2	2	0	0	0		兼21		
健康・スポーツ実技		健康・スポーツ実技	1①～②③～④		1			○									兼16	
		小計 (1科目)			0	1	0			0	0	0	0	0			兼16	
高度教養教育科目・広範教養教育科目	高度教養 主題科目		防災ボランティア講座	2①～②		2		○									兼4	
			防災ボランティア実習	2③～④		2			○								兼3	
			医療と法	2③～④		2			○								兼2	
			海外体験型異文化コミュニケーションⅡ	1・2・3・4②		1			○								兼3	
			サーバント・リーダー養成入門Ⅱ	1・2・3・4②		1			○								兼2	
		小計 (5科目)			0	8	0				0	0	0	0	0		兼14	
	英上語級		上級英語 (Study Abroad)	1・2・3・4③～④		2			○									兼1
			小計 (1科目)			0	2	0			0	0	0	0	0			兼1
	古典西洋語		ラテン語初歩Ⅰ	1・2・3・4①～②		1			○									兼1
			ラテン語初歩Ⅱ	1・2・3・4③～④		1			○									兼1
		小計 (2科目)			0	2	0				0	0	0	0	0		兼1	
	広範教養 主題科目		知ブラe科目 大学の知の活用	1・2・3・4③～④		2			○									兼1
			知ブラe科目 行動統計学入門	1・2・3・4③～④		2			○									兼1
			知ブラe科目 自動車概論	1・2・3・4③～④		2			○									兼1
		知ブラe科目 大学生のための『安全・安心』の基礎講座	1・2・3・4③～④		2			○									兼1	
	小計 (4科目)			0	8	0				0	0	0	0	0		兼4		
学部基礎科目	経済系		経済数学入門	1③～④		2		○			2							
			経済史入門	1①～②		2		○			1							
			ミクロ経済学Ⅰ	2①～②		2		○			2							
			マクロ経済学Ⅰ	2①～②		2		○			2							
			ミクロ経済学Ⅱ	2③～④		2		○			1							
			マクロ経済学Ⅱ	2③～④		2		○			1							
	経営系		簿記入門	1①～②		2		○			1	1						
			原価会計論	1③～④		2		○			1							
			現代企業論	1③～④		2		○			1							
			経営管理論	1①～②		2		○					1					
			経営戦略論	2①～②		2		○				1						
			マーケティング論A	2①～②		2		○				1						
	統計・調査		統計学入門	1①～②		2		○			3							
			統計学	1③～④		2		○			3							
			社会調査法	1①～②		2		○			3	1						オムニバス
			地域調査法	1①～②		2		○			1							
	小計 (16科目)			0	32	0				8	11	1	0	0				
分経済・政策		政治経済学Ⅰ	2①～②		2		○			1								
		計量経済学Ⅰ	2①～②		2		○			1								
		経済政策	2①～②		2		○			1								
		社会政策A	2③～④		2		○			1								

学部専門科目	イ	会計学総論	2①～②	2	○	1										
	ナ	金融論Ⅰ	2①～②	2	○		1									
	ン	リスクと保険	2③～④	2	○		1									
	ス	財政学A	2①～②	2	○		1									
	フ	企業倫理	2①～②	2	○			1								
ベ	イ	経営組織論	2①～②	2	○			1								
	シ	人的資源管理論A	2③～④	2	○		1									
	ョ	流通システム論A	2③～④	2	○		1									
	ン	観光学概論	1③～④	2	○		1									
振	興	観光産業論	2①～②	2	○				1							
	光	地域活性化論	2①～②	2	○		1									
	・	まちづくり論	2③～④	2	○			1								
	地															
社	会	グローバル社会概論	1③～④	2	○		1								オムニバス	
	会	アジア経済論	2③～④	2	○		1									
	経	アメリカ経済論	2③～④	2	○		2									
	済	ヨーロッパ経済論	2①～②	2	○				1							
	小計(20科目)			0	40	0	14	4	2	0	0					
学部開設科目	経	済	経済数学	2③～④	2	○	1									
		・	政治経済学Ⅱ	2③～④	2	○	1									
		政	計量経済学Ⅱ	2③～④	2	○	1									
		策	社会政策B	3①～②	2	○	1									
		分	財政学B	2③～④	2	○	1									
		析	日本社会経済史	2③～④	2	○			1							
			金融論Ⅱ	2③～④	2	○			1							
			上級ミクロ経済学	3①～②	2	○			2							
			上級マクロ経済学	3③～④	2	○			2							
			経済統計	3①～②	2	○	1									
			公共経済学	3①～②	2	○					1					
			地域経済学	3①～②	2	○					1					
			国際経済学A	3①～②	2	○					1					
			国際経済学B	3③～④	2	○					1					
		福祉経済論	3①～②	2	○	1										
		金融政策Ⅰ	3①～②	2	○					1						
		金融政策Ⅱ	3③～④	2	○					1						
	会	計	管理会計論	2③～④	2	○	1									
		・	調査データ分析Ⅰ	2③～④	2	○				1						
		フ	財政学B	2③～④	2	○	1									
ア		金融論Ⅱ	2③～④	2	○			1								
イ		株式会社会計	3①～②	2	○	1										
ナ		財務会計論A	2③～④	2	○			1							隔年開講	
ン		財務会計論B	3③～④	2	○			1							隔年開講	
ス		社会政策B	3①～②	2	○	1										
		監査論	3③～④	2	○	1										
		原価計算論	3①～②	2	○	1										
		コスト・マネジメント論	3①～②	2	○	1									隔年開講	
		保険システム論	3①～②	2	○	1										
		金融政策Ⅰ	3①～②	2	○					1						
		金融政策Ⅱ	3③～④	2	○					1						
	中小企業経営論	3③～④	2	○			1									
	調査データ分析Ⅱ	3①～②	2	○				1								
	経営財務論	3①～②	2	○			1									
コ	ー	経営史	3①～②	2	○	1										
	ー	経営学史	2③～④	2	○			1								
	ス	イノベーション論	2③～④	2	○				1							
	専	マーケティング論B	2③～④	2	○	1										
	門	環境システム論	2③～④	2	○	1										
	科	商品システム論	2③～④	2	○	1										
	目	資源エネルギー論	3①～②	2	○	1									隔年開講	
		調査データ分析Ⅰ	2③～④	2	○					1					隔年開講	
		管理会計論	2③～④	2	○	1										
		人的資源管理論B	3①～②	2	○	1										
		中小企業経営論	3③～④	2	○			1								

教育課程等の概要(事前伺い)

(経済学部経済学科(夜間主コース))

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
全学共通科目	主題科目	「歴史の中の21世紀」	1・2①・②・③・④	2			○								兼1	オムニバス
		「グローバル社会と異文化理解」	1・2①・②・③・④	2			○								兼1	
		「情報とコミュニケーション」	1・2①・②・③・④	2			○								兼1	
		「文化と科学・技術」	1・2①・②・③・④	2			○								兼4	
		「生命と環境」	1・2①・②・③・④	2			○								兼1	
		「人間と健康」	1・2①・②・③・④	2			○								兼5	
		小計(6科目)		0	12	0				0	0	0	0	0	兼13	
	学問基礎科目	哲学	1・2①・②・③・④	2			○								兼1	オムニバス
		心理学	1・2①・②・③・④	2			○								兼4	
		社会学	1・2①・②・③・④	2			○								兼1	
		歴史学	1・2①・②・③・④	2			○								兼1	
		政治学	1・2①・②・③・④	2			○								兼1	
		地学	1・2①・②・③・④	2			○								兼1	
		物理学	1・2①・②・③・④	2			○								兼1	
		化学	1・2①・②・③・④	2			○								兼3	
		生物学	1・2①・②・③・④	2			○								兼1	
		地理学	1・2①・②・③・④	2			○								兼1	
		情報科学	1・2①・②・③・④	2			○								兼2	
		放送大学開講科目	1・2①・②・③・④	2			○								兼2	
	小計(12科目)		0	24	0				0	0	0	0	0	兼17	2科目(4単位)まで履修可能	
コミュニケーション科目	大学入門ゼミ	1①	2			○				1						
	情報リテラシー	1①	2			○			1							
	英語Ⅰ	1・2①～②	2				○							兼1		
	英語Ⅱ	1・2③～④	2				○							兼1		
	英語Ⅲ	1・2①～②	2				○							兼1		
	健康・スポーツ実技	1・2①・②・③・④	2					○						兼1		
	小計(6科目)		0	12	0				1	1	0	0	0	兼4		
基礎科目	経済学入門A	1②	2			○				1						
	経済学入門B	1①	2			○				1						
	経営学	1①	2			○				1				兼1		
	会計学	1②	2			○				1						
	法学入門	1①	2			○								兼1		
		小計(5科目)		0	10	0				0	3	0	0	0	兼2	
経済・経営学科目	数理経済学	2・3・4①・②・③・④	2			○				1						
	統計学	2・3・4①・②・③・④	2			○			1							
	経済政策	2・3・4①・②・③・④	2			○			1							
	社会政策	2・3・4①・②・③・④	2			○			1							
	福祉経済論	2・3・4①・②・③・④	2			○			1							
	国際経済学	2・3・4①・②・③・④	2			○					1					
	財政学	2・3・4①・②・③・④	2			○			1							
	公共経済学	2・3・4①・②・③・④	2			○					1					
	金融論	2・3・4①・②・③・④	2			○				1						
	金融政策	2・3・4①・②・③・④	2			○					1					
	アジア経済論	2・3・4①・②・③・④	2			○			1							
	企業倫理	2・3・4①・②・③・④	2			○					1					
	現代企業論	2・3・4①・②・③・④	2			○			1							
	リスク・マネジメント論	2・3・4①・②・③・④	2			○			1							
環境システム論	2・3・4①・②・③・④	2			○			1								

学部開設科目	コース専門科目	人的資源管理論	2・3・4①・②・③・④	2		○			1											
		経営管理論	2・3・4①・②・③・④	2		○			1											
		経営戦略論	2・3・4①・②・③・④	2		○			1											
		イノベーション論	2・3・4①・②・③・④	2		○					1									
		流通マーケティング論	2・3・4①・②・③・④	2		○			1											
		生産管理システム論	2・3・4①・②・③・④	2		○														兼1
		企業会計A	2・3・4①・②・③・④	2		○			1											
		企業会計B	2・3・4①・②・③・④	2		○			1											
		日本社会経済史	2・3・4①・②・③・④	2		○					1									
		観光学	2・3・4①・②・③・④	2		○			1											
		地域活性化論	2・3・4①・②・③・④	2		○			1											
		社会と文化	2・3・4①・②・③・④	2		○			1											
		ヨーロッパ文化論	2・3・4①・②・③・④	2		○					1									
		法学科目	国際関係論	2・3・4①・②・③・④	2		○													
政治史	2・3・4①・②・③・④		2		○														兼1	
行政学	2・3・4①・②・③・④		2		○														兼1	
アジア・太平洋社会論	2・3・4①・②・③・④		2		○														兼1	
商法総則・商行為法	2・3・4①・②・③・④		2		○														兼1	
会社法Ⅰ	2・3・4①・②・③・④		2		○														兼1	
会社法Ⅱ	2・3・4①・②・③・④		2		○														兼1	
保険法	2・3・4①・②・③・④		2		○														兼1	
民法Ⅱ	2・3・4①・②・③・④		2		○														兼1	
民法Ⅲ	2・3・4①・②・③・④		2		○														兼1	
租税法	2・3・4①・②・③・④		2		○														兼1	
社会保障法	2・3・4①・②・③・④	2		○														兼1		
労働法	2・3・4①・②・③・④	2		○														兼1		
特別講義	2・3・4①・②・③・④	2		○														兼1		
小計(42科目)			0	84	0			15	8	4	0	0	0	0	0	0	0	兼12		
演習・卒業研究	演習Ⅰ	3通	4				○		1											
	演習Ⅱ	4通	4				○		1											
	卒業研究	4通	4				○												-	
	小計(3科目)	-	4	8	0				2	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計(74科目)		-	4	150	0				25	17	7	0	0	0	0	0	0	0	兼48	
学位又は称号		学士(経済学)			学位又は学科の分野				経済学関係											

設置の趣旨・必要性

I. 設置の趣旨・必要性

(1) 背景

(社会的・地域的課題)

本学部は1923年に前身の官立高松高等商業学校設立以来、香川県を中心とした中四国地域における課題解決の役割を果たすべく教育研究を実施し、有為な人材を輩出してきたところである。だが、複雑化・混迷化する世界情勢、グローバル化が進行する社会経済や企業経営、人口減少の中で地域創生が求められる地域など、香川県だけでなく、日本は新たな課題に直面している。この課題の探求・解決には、複雑な現象を多角的な視点から分析し理解する必要がある、経済学、経営学の専門基礎力の修得を前提として、その他の学問分野も含めた多角的な視点から課題に接近できる複眼的な思考力を持ち、さらに、他者とコミュニケーションを通じて協働しながら、主体的に考え行動できる人材の育成が求められている。

(国の対応)

政府は人口減少問題に対して、地域における企業・産業の「稼ぐ力」の向上による雇用の創出を実現するために、ものづくり等産業のイノベーション促進（ローカルイノベーション）、地域資源・技術を活用した商品・サービスのブランド化（ローカルブランディング）、サービス産業全体の生産性向上（ローカルサービスの生産性向上）の必要性を唱えている。さらに、地域資源を活用したコンテンツの磨き上げによる観光・交流の拡大を実現するために、森里川海などの価値ある自然を活かしたコンテンツのブランド化、訪日外国人旅行者の滞在中の利便性向上の必要性を唱えている。（まち・ひと・しごと創生本部「まち・ひと・しごと創生基本方針2015」平成27年6月より）

(地域の対応)

片や、香川県では、最大の課題である人口減少問題に対応するために、産業の育成や企業誘致による雇用の創出を人口減少抑制戦略として提唱し、地域の資源を活かした観光・交流の拡大を、交流人口拡大を企図した人口減少社会適応戦略として提唱している。（香川県「かがわ創生総合戦略」平成27年10月より）また、香川県からは地域からの要請の強い「観光分野」で活躍できる人材など地方創生を担う経済・経営人材の育成を強く要請されている。（香川県知事「地域活性化に向けた機能強化を目指した大学改革構想の実現について（要望）」平成28年12月より）

さらに、地元企業からなる四国経済連合会では、グローバル時代の企業が求める人材の育成について、旺盛なチャレンジ精神、課題解決力など自ら考え行動できる力、多様な文化・価値観への理解力を身につける教育を大学に要望している。（四国経済連合会「グローバル時代の企業が求める人材の育成について」平成26年11月より）

(2) 本学部に設置する必要性

(実績の評価と継承)

本学部では、経済や経営に関する専門知識を活かし、社会人基礎力グランプリ受賞などの実績を持ち、社会的需要に応じた、さらには、地域活性化に資する教育研究をも行ってきた。その結果、地域の金融機関、公務員を中心に社会で活躍できる人材を輩出し、高い就職率を誇っている。

また、大学院では経済学研究科に加え、専門職大学院（ビジネススクール）である地域マネジメント研究科を設置し、高度職業人養成においても地域貢献を果たしてきた。

さらに、近年では地域活性化を題材とした教育GP、特別教育研究、COC（自治体連携による瀬戸内地域の活性化と（知）の拠点整備）などの文部科学省の教育プログラムの採択や、学部独自の学生公募型プロジェクトの取り組みなど地域活性化や観光に関する教育研究などの実績を残している。

グローバル人材の養成についても、社会的需要を見越した教育を実践し、近年は、短期海外研修、長期留学生数の増加がみられ、企業にとって有用な人材の養成に積極的に貢献してきた。

(社会・地域からの期待・要請)

このように、経済学部は、地域に貢献する人材養成を行ってきた。しかし、社会・地域を取り巻く現状は厳しさを増し、大学教育への期待・要請はこれまで以上に高いものとなっている。社会・地域のニーズに応え、地域に貢献する人材を養成するためには、現在の人材像、学科体制、教育課程での実現は難しく、これらを改革する必要がある。

そこで、出口調査（企業・地方自治体等、本学部卒業生の就職先を対象）、入口調査（オープンキャンパスに来校した高校1年生・2年生対象）を実施し、その結果を踏まえて以下のような人材像、育成する力を設定した。

経済学部改組の背景

【仮説の検証(妥当性の検討)】

● アンケート調査の結果(出口調査): 育成する力についての評価

(5段階評価)

		平均値
経済学、経営学の基礎知識を有すること	専門基礎力	4.14
経済・経営に関わるデータを分析できること	専門基礎力	4.16
経済・経営に関する多角的な視点から思考できること	複眼的思考力	4.33
地域社会の現状と課題に関心を持つこと	地域理解力	4.39
地域社会の問題を発見し、探求できること	地域理解力	4.27
外国の文化、言語、歴史、宗教、生活様式などを理解すること	異文化理解力	3.57
多様な価値観を認めること	異文化理解力	4.25
経済や経営上の課題、あるいは地域課題に対して、既存概念にとらわれず、進んで取り組むこと	チャレンジ精神(行動力)	4.49
相手の主張を理解し、自らの見解を発信できること	コミュニケーション力	4.64
他者とコミュニケーションを通じて協働できること	コミュニケーション力	4.77
主体的に考え行動できること	課題探求・解決力	4.78

「過去3年間で卒業生が就職した企業・自治体・団体等を対象」回答数160(446件配布)

表1 アンケート調査結果(出口調査)育成する力についての評価

経済学部改組の背景

【仮説の検証(妥当性の検討)】

● アンケート調査の結果(入口調査): 育成する力についての評価

(5段階評価)

		平均値
経済学・経営学の基礎的な内容は身につける必要があると思う。	専門基礎力	4.40
経済・経営に関することを多角的に学ぶ必要があると思う。	複眼的思考力	4.18
経済・経営の視点から、地域の活性化や観光振興を学ぶことは必要だと思う。	地域理解力	4.09
地域の企業や自治体、住民との交流を通して学ぶことは必要だと思う。	地域理解力	4.14
外国の文化、言語、歴史、宗教、生活様式などを理解することは必要だと思う。	異文化理解力	4.07
学生が中心となるプロジェクトを通して、主体的に学ぶことは必要だと思う。	チャレンジ精神(行動力)	4.16
新しい香川大学経済学部に進学してみたいか。		3.96

「オープンキャンパス(2016年8月開催)に参加した高校1・2年生を対象」回答数397

表2 アンケート調査結果(入口調査)育成する力についての評価

II. 教育課程編成の考え方・特色

(1) 教育課程の基本的な考え方

1. 人材像と育成する力

(新しい人材像)

複雑化・混迷化する世界情勢、グローバル化が進行する社会経済や企業経営、人口減少の中で地域創生が求められる地域など直面する新たな課題の探求・解決に向けて、経済・経営に関する多角的な専門知識を活かし、他者とコミュニケーションを通じて協働しながら、主体的に考え行動する人材を育成する。

[参考]

〈現行の人材像〉

経済や経営に関する専門知識を活かし、多様な価値や文化に対する深い理解を背景として、国内外で活躍できる人材を育成する

(現行3学科の人材像)

経済学科

複雑多様化する現代経済を理論的・実証的・数量的に解明し、直面する諸課題に対して、国際的視野と科学的視点から、実行可能な政策を提言できる人材を育成する。

経営システム学科

企業経営に求められる知的能力(企業の存続・成長の基礎を確立するために差異化を積極的に創造する必要があり、それを生み出す条件として専門化された知識やスキル)を身につけた人材を育成する。

地域社会システム学科

社会に対する深い理解力と分析力を備え、広く国内外のビジネスシーンで活躍できる人材を育成する。

(新しい育成する力)

○専門基礎力：経済学、経営学の基礎知識を有し、経済経営・地域に関わる定量・定性データを分析できる力

○複眼的思考力：経済学、経営学の異なる学問分野の基礎を身につけ、多角的な視点から経済経営上の課題や地域課題を思考する力

○地域理解力：地域社会の現状と課題に関心を持ち、自己と関連づけて問題を発見し、探求することができる力

○異文化理解力：日本とは異なる外国の文化、歴史、宗教、生活様式などを理解し、多様な価値観を認める力

○チャレンジ精神(行動力)：イノベーション創出やビジネス改善などの経済経営上の課題、あるいは地域課題に対して、既存概念にとらわれず進んで取り組む力

○課題探究・解決力：上記5項目を兼ね備え、経済経営上で、地域で課題を探求し、解決する力

○コミュニケーション力：課題探究・解決に必要な、相手の主張を理解し、自らの見解を発信できる力

[参考]

(現行の育成する力)

○専門分野に対する優れた能力：専門知識(理論と応用)

○経済人としての幅広い視野：コミュニケーション力、異文化理解力

○情報を分析し発信する能力

現行の育成する力では、専門知識、異文化理解力、コミュニケーション力、情報分析・発信力の修得があげられているが、学科間に修得の差があった。また、現行の育成する力では、社会が求めているものに十分応えられていない。(複眼的思考力、地域理解力、チャレンジ精神(行動力)、課題探究・解決力)

現行の人材像は、特定の専門知識の修得を重視し、特定の領域・分野に秀でるもので、学部の人材像の下に専門性を踏まえた3学科それぞれの人材像を持っているが、上でみた現在の社会や地域のニーズに十分対応できていない。また、コミュニケーション力、チャレンジ精神(行動力)、課題探究・解決力といった汎用性にもやや欠けるところがある。

一方、新しい人材像は、社会や地域のニーズに応えるため、経済、経営の両方の専門基礎力を前提に特定の専門知識の修得のみならず、複数の領域・分野の知識を修得するものであり、地域理解力、異文化理解力、さらには高い汎用性も身につけるものである。その意味では、新しい人材像は現行の学部人材像の不足部分を補い、3学科制により維持・向上を図ってきた各学問分野・領域の体系的・専門性を保持しつつ、複眼的思考力を養成するものである。

2. 3学科制から1学科5コース制への移行

これまで、現行の3学科制で社会において活躍できる人材を養成してきた。だが、社会構造の変化に合わせて、経済学部としての育成する力を改めて検討し、社会や地域のニーズとのマッチングを図った。経済学部が本来教育すべき基礎的・普遍的なもの、今後社会で経済学部出身者として持つべき能力を捉えて、教育課程(1年次～4年次)の流れの中で、どの時点で共通に教育すべき内容を改めて捉え直した。その結果、3学科毎のカリキュラムではなく、経済学科1学科として、2年次前期までに経済学部の学生全員が学ぶべき基礎的な共通部分(学部基礎科目と学部専門科目)の構築を行った。(図1参照。詳細は後述(カリキュラムの特色)を参照)

さらに、基礎的・普遍的な部分(学部基礎科目と学部専門科目)の上に積み上げるべき専門性を、社会や地域のニーズを詳細に把握することで検討した。その結果、社会や地域のニーズに合わせた5コース(コース専門科目)を設け、学生個々人の興味・関心・適性、将来の進路にあったコースを選択できるようにした。1学科とすることで基盤となる学問分野を明確にし、地域・社会と個々人の将来を見据えた能力の育成を加えた、現実的かつ長期的視点に立った制度設計・運用になっている。

以上のことから、1学科コース制への移行が必要であり、1学科コース制にすることで、人材像に沿った教育を学部教員全員で責任をもって行うことが可能となる。さらに、1学科の同一カリキュラムにすることで、各学科が培ってきた専門教育やフィールドワーク、グローバル人材などのそれぞれの長所を学部全体に広げることが可能となる。

1学科(経済学科)5コース制

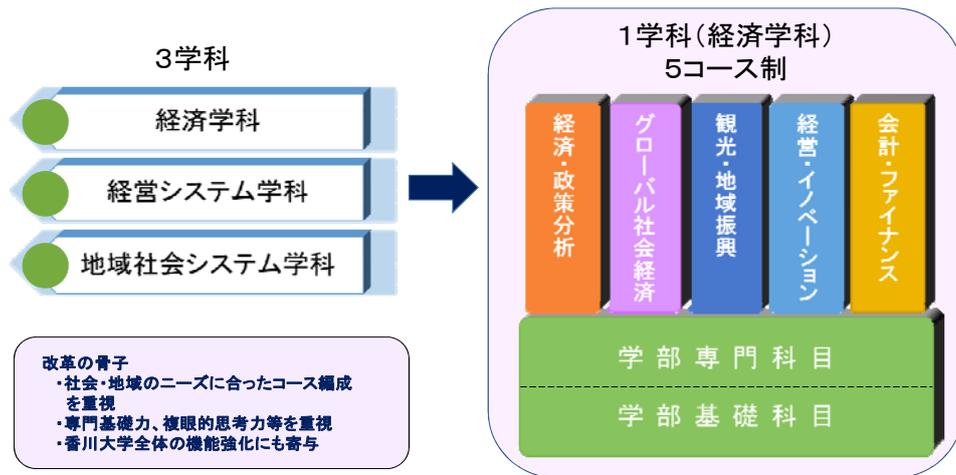


図1 概念図(1学科(経済学科)5コース制)

3. 教育課程の特色

(1学科制～共通科目の大幅増加と学位との整合性担保～)

本改組計画は、1学科のもとでの5コースであり、5学科になるのではない。コースの差は履修科目の偏重の差となる。1学科コース制の採用により、学科を跨いだ共通科目は12単位であったが、コース間の共通科目は42単位に大幅に増加する。1学科にすることで、人材像に沿った教育を学部教員全員で責任をもって行う。また、学部基礎科目・学部専門科目を合わせて42単位以上履修させる設計とし、学位(学士(経済学))との整合性を担保する。

(5コースの設計)

コース制については、社会・地域のニーズに合わせたコースを設計する必要がある。これまでの本学部の強い就職実績と地域貢献から、金融機関、公務員、製造業・小売業等の民間企業を出口に見据えたコースが必要である。これらはそれぞれ会計・ファイナンスコース、経済・政策分析コース、経営・イノベーションコースに対応する。また、近年、地域で強く求められている観光・地域振興系、企業の国際部門等のグローバル化に対応できるコースについても、これまでの専門履修プログラムの実績を踏まえた教育内容の再構成から対応が可能であり、それぞれ観光・地域振興コース、グローバル社会経済コースに対応する。現状のニーズを捉えたコース設計である。

1学科(経済学科)5コース制

各コースの学修内容と身につける力・就職先

コース名	学修内容と身につける力	就職先
経済・政策分析コース	経済学の理論的・実証的手法を体系的に修得し、複雑な経済現象の本質を論理的思考に基づき理解する能力を養います。その上で、幸福な社会の実現に向けた提言を行うための問題発見・解決能力、コミュニケーション能力を身につけます。	・公務員 ・自治体・企業の調査分析部門
会計・ファイナンスコース	会計学総論や株式会社社会計などの会計学関連科目、金融論や経営財務論などの金融関連科目を学修します。さらに、会計情報を読み解く基礎から応用に及ぶ能力と、金融や保険に関する深い理解力と洞察力を身につけます。	・金融機関 ・企業における経理部門・財務部門 ・会計ファイナンスの能力を生かせる官公庁(国税庁など)
経営・イノベーションコース	戦略と組織、マーケティング、イノベーション、企業の社会的責任など、経営学に関わる幅広い内容を学修します。また、ビジネスの視点から問題解決にあたり、新たな価値を創造する上で必要となるコミュニケーション能力、課題探求・解決能力を身につけます。	・民間企業(製造、卸・小売業) ・官公庁・金融機関等における創業支援・経営支援の業務 ・起業
観光・地域振興コース	経済学・経営学をベースに、観光学、まちづくり論等により地域振興・経済活性化に向けた観光資源等の活用方策を考える基礎的能力を身につけます。さらに、デジタルマップを用いた調査法やフィールドワークにより、地域振興に必要な実践的能力を身につけます。	・公務員(観光振興、地域振興) ・公益法人等(JA、生協、商工会議所) ・観光業、地場産業等の企業
グローバル社会経済コース	経済活動の国際的展開と多様な社会現象に対応するため、経済学をベースに世界各地の経済や社会・文化を幅広く学びます。その上で、世界を舞台に活躍するのに必要な問題解決力とコミュニケーション能力を身につけます。	・国内外の企業(国際部門など) ・公益法人(JICAなど)、NGO ・新聞社などのメディア

表3 各コースの学修内容と身につける力及び就職先

(履修指導体制)

コースの定員枠を原則設けず、入学後（2年次後期）に興味関心・適性・将来の進路に合わせて、進路指導を受けながらコースを決定できる。

①履修相談等

1年次前期に先立ち（入学式後に）カリキュラム説明会及び履修相談会を開催する。ここで、1年次前期と後期の標準的な時間割を教務委員会が示し、学生が自分の時間割を組み立てる。2年次前期に先立ち（春休み中に）カリキュラム説明会及び履修相談会を開催する。ここで、2年次前期の標準的な時間割を教務委員会が示し、学生が自分の時間割を組み立てる。また、2年次前期にはコース選択のための概説科目を開講する。この授業を履修することにより、学生はコース選択に必要な知識を得られる。さらに、2年次後期に先立ち（夏休み中かそれより前に）卒業論文の中間報告会を開催し、2年次生にも参加させる。この中間報告会により、学生は各コースの学修内容を具体的に把握できる。

②履修指導

1年次前期から2年次前期までは大学入門ゼミの担当教員がキャンパス・アドバイザーとなり、履修指導を行う。2年次前期までは学生がコースに所属していないため、キャンパス・アドバイザーは教務委員会と連携して履修指導を行う。

2年次後期にはプロゼミナールの担当教員が履修指導を行う。また、3年次前期から4年次後期までは演習及び個別演習の担当教員が履修指導を行う。2年次後期からは学生がコースに所属しているため、各コースの担当教員が相互に連携して履修指導を行う。

2年次前期までに各コースの主な科目が履修できるようにカリキュラム設計するとともに、2年次前期に各コースの教育内容を紹介する授業を提供する。その上で、2年次後期から各コースに学生は分かれる。

教員は主担当1コース、副担当1～2コースを担当する。3年次の演習（ゼミ）は主担当・副担当コースの学生を受け入れる。したがって演習（ゼミ）に所属する学生は複数コースからなる。ここからも多角的な視点から学びあうことになる。

現行3学科から1学科コース制への移行

• アンケート調査の結果(入口調査)

(5段階評価)

	平均値
在学中に自分の興味・関心・適性、将来の進路にあわせてコースの選択ができることは魅力的だと思う。	4.37
将来の進路が不明確な時点で学ぶ内容を決めるのは難しいと思う。	3.83

「オープンキャンパス(2016年8月開催)に参加した高校1・2年生を対象」回答数397

• アンケート調査の結果(出口調査)

(5段階評価)

	平均値
香川大学経済学部の3学科制にかわる新しい教育プログラム(1学科5コース制)にどの程度、魅力を感じますか。	4.23

「過去3年間で卒業生が就職した企業・自治体・団体等を対象」回答数160(446件配布)

表4 アンケート(高校生対象)調査結果

(カリキュラムの特色)

カリキュラムは全学共通科目32単位と学部開設科目92単位から構成される。学部開設科目では、第1に、専門基礎力を養成するための学部基礎科目を1年次から2年次にかけて配置する。学部基礎科目では、経済系(8単位)、経営系(8単位)、統計・調査系(6単位)、計22単位を修得させる。この3つの分野の科目を必ず修得させることにより、専門基礎力を身に付けさせる。学部基礎科目では、学部開設科目の基礎部分として、経済系や経営系に加えて統計・調査系の授業を履修させ、経済学部の学生として一様に修得すべき能力の育成を図る。

第2に、複眼的思考力、地域理解力、異文化理解力を養成するための学部専門科目を1年次から2年次にかけて配置する。学部専門科目では、経済・政策分析(4単位)、会計・ファイナンス(4単位)、経営・イノベーション(4単位)、観光・地域振興(4単位)、グローバル社会経済(4単位)、計20単位を修得させる。この5つの領域の科目を必ず修得させることにより、複眼的思考力を身に付けさせる。また、観光・地域振興(4単位)では地域理解力を、グローバル社会経済(4単位)では異文化理解力を、それぞれ身に付けさせる。学部専門科目は、基礎科目の修得を踏まえた発展科目として設定する。科目の編成にあたっては、地域的・社会的な需要を踏まえて5つの領域に区分し、それぞれから修得すべき単位数を定め、学生が広汎な知識を修得できるよう工夫した。

第3に、課題探求・解決力を養成するためのコース専門科目を2年次から4年次にかけて配置する。コース専門科目では、経済・政策分析、会計・ファイナンス、経営・イノベーション、観光・地域振興、グローバル社会経済から1つを選び、20単位を修得させる。特定のテーマの科目を重層的に修得させることにより、課題探求・解決力を身に付けさせる。

第4に、チャレンジ精神やコミュニケーション力を養成するための選択科目を2年次から4年次にかけて配置する。選択科目では、インターンシップやフィールドワークを含め他コースの科目も修得させる。特に、インターンシップやフィールドワークなどの科目を修得させることにより、チャレンジ精神やコミュニケーション力を身に付けさせる。

第5に、課題探求・解決力やコミュニケーション力を養成するための演習等を2年次から4年次にかけて配置する。演習等では、プロゼミナール(2単位)、演習(4単位)、卒業論文(4単位)、計10単位を必ず修得させる。これらの少人数教育を通して、課題探求・解決力やコミュニケーション力を身に付けさせる。

(人材像・育成する力の担保)

経済学部経済学科が養成する人材像と育成する力を担保するための教育システムと授業科目の流れを図2及び図3に示す。

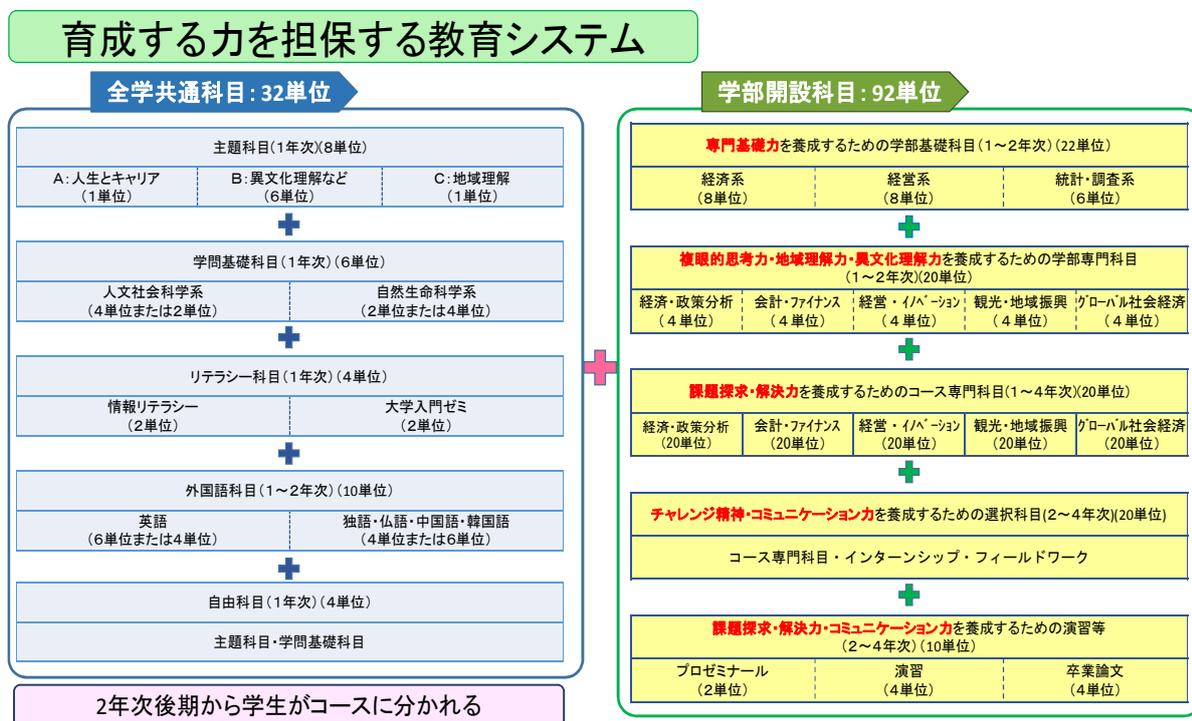


図2 概念図 経済学部経済学科の教育システム(1)

授業科目の流れと各授業科目の繋がり

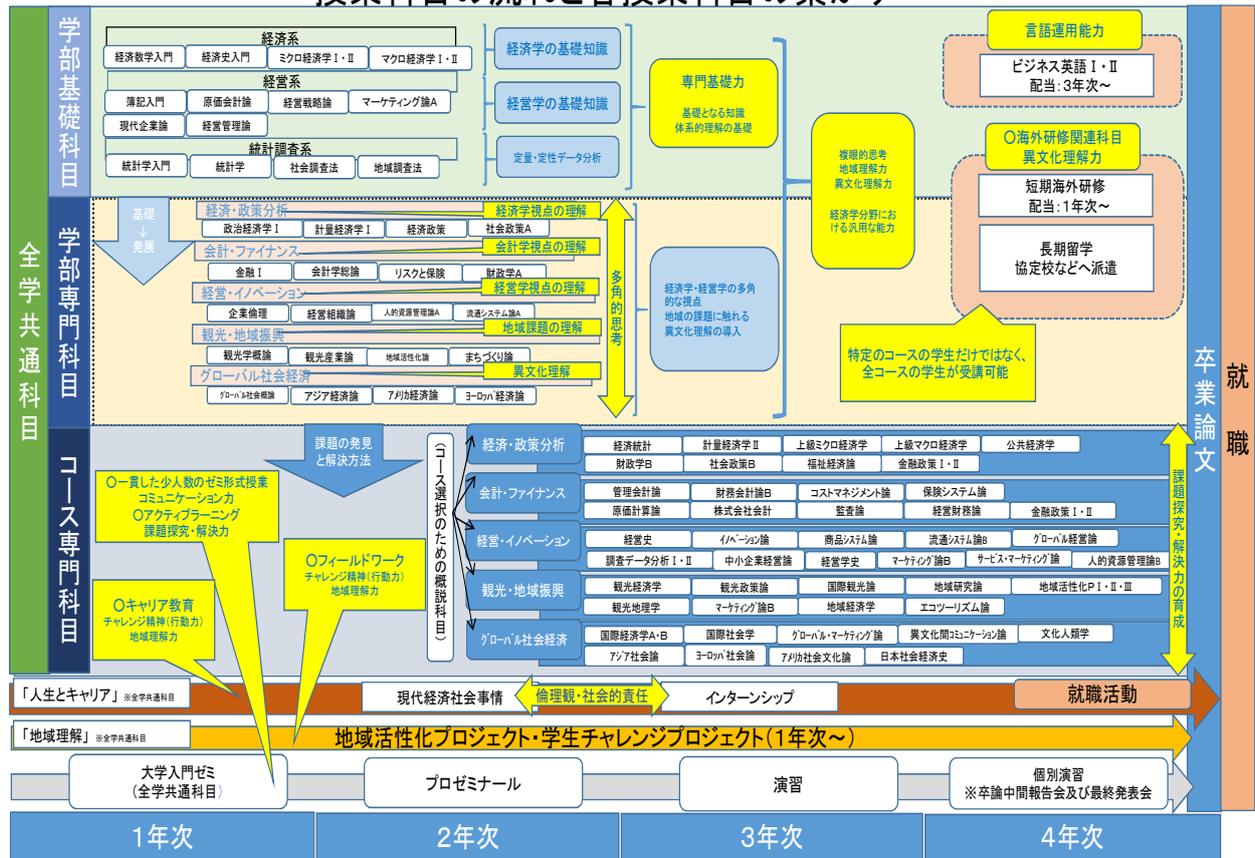


図3 概念図 授業科目の流れと各授業科目の繋がり

(学位: 学士(経済学)の担保)

学部開設科目92単位のうち、学部基礎科目22単位は経済学系、経営学系、統計学系の科目であり、学士(経済学)の教育課程として適切である。また、学部専門科目20単位のうち、経済・政策分析は経済学系及び統計学系、会計・ファイナンスは経営学系及び経済学系、経営・イノベーションは経営学系の科目であり、学士(経済学)の教育課程として適切である。観光・地域振興とグローバル社会経済は学際的な科目を含むが、観光・地域振興は経営学系及び経済学系、グローバル社会経済は経済学系の科目を中心としており、学士(経済学)の教育課程の条件を満たしている。

学部基礎科目と学部専門科目を合わせると42単位となり、学士(経済学)の専門性は十分に担保されているが、コース専門科目20単位を加えれば62単位となり、学士(経済学)の専門性はさらに高められる。演習(ゼミ)等の少人数教育を中心に、講義形式の授業においてもアクティブラーニングを積極的に導入する(平成28年度から既に導入開始)。

少人数教育では、2年次後期のプロゼミを必修化するとともに、4年次の卒論中間報告会及び最終発表会を公開することにより、4年間の少人数教育の必修化が実現し、今まで以上の学修の定着をはかることが可能になり、さらに専門基礎力、複眼的思考力、コミュニケーション力、課題探究・解決力が養成できる。

フィールドワーク科目「地域活性化プロジェクト I・II・III」や学生自身の地域活性化のための主体的活動である「学生チャレンジプロジェクト」の継続、さらにCOC+ (うどん県で働こうプロジェクト～能動学修による地域の魅力発見)でのインターンシップの一層の充実、短期海外研修等により、チャレンジ精神(行動力)、地域理解力・異文化理解力を身につけさせることが可能になる。

今回の改組は社会構造の変化に合わせて、社会や地域とのニーズのマッチングを図ったものである。学部基礎科目・学部専門科目などの基盤的な講義、コース専門科目などの専門的な講義はもちろん、アクティブラーニングや少人数教育、フィールドワーク科目などのさらなる積極的な導入が必要となる。よって、これまで以上に教員が、そしてインターンシップやフィールドワークなどでは地域社会が、学生に関わる必要がある。現在は昼間コース学生定員が1,160人（1学年280人×4年=1,120人、3年次編入20人、計40人の合計）であり、教員1人当たり学生数は22.3人であるが、より学生への教育に関わるためには教員1人当たり学生数を20人未満に抑え、教育のさらなる充実を図りたい。そのためには昼間コース学生定員を1,000人程度にする必要があり、学生定員を昼間コース1学年280人から240人に削減する。これにより昼間コース学生定員が1,000人（1学年240人×4年=960人、3年次編入20人、計40人の合計）、教員1人当たり学生数は19.2人となる。このことでより一層、濃密な教育が可能となり、学士力の担保とすることができる。

育成する力を担保する教育システム

課題探究・解決力、コミュニケーション力					
専門基礎力、複眼的思考力		チャレンジ精神(行動力)、地域理解力		異文化理解力	
学 年	講義型教育	少人数教育	キャリア教育	フィールドワーク	グローバル人材養成
4年	コース専門科目 選択科目 ※一部アクティブラーニング	個別演習 卒論(中間報告会と卒論発表会の必修化) ※アクティブラーニング	(就職活動支援)	地域活性化プロジェクトⅢ 学生チャレンジプロジェクト(以下、学チャレ)	長期留学
3年 前期: 演習分け	学部専門科目 コース専門科目 選択科目 ※一部アクティブラーニング	演習 ※アクティブラーニング	インターンシップ (COC+の実績を取り込み強化)	地域活性化プロジェクトⅡ 学チャレ	長期留学 短期海外研修 (強化)
2年 後期: コース分け 前期: コース説明 用授業	学部基礎科目 学部専門科目 コース専門科目 ※一部アクティブラーニング	プロゼミナール (必修化) ※アクティブラーニング	現代経済社会事情	地域活性化プロジェクトⅠ 学チャレ	長期留学 短期海外研修 (強化) 外国語※全学共通科目
1年	学部基礎科目	大学入門ゼミ ※PBL	主題A: 人生とキャリア ※全学共通科目	主題C: 地域理解 ※全学共通科目(必修化) 学チャレ	短期海外研修 (強化) 外国語※全学共通科目

注: 朱書きは、新たな取組及び強化するもの

図4 経済学部経済学科の教育システム(2)

(2) 選抜方法

採用する入学者選抜方法は以下のとおりとする。

[昼間コース]

一般入試 前期日程・後期日程

推薦入試 推薦Ⅰ、推薦ⅡA、推薦ⅡB

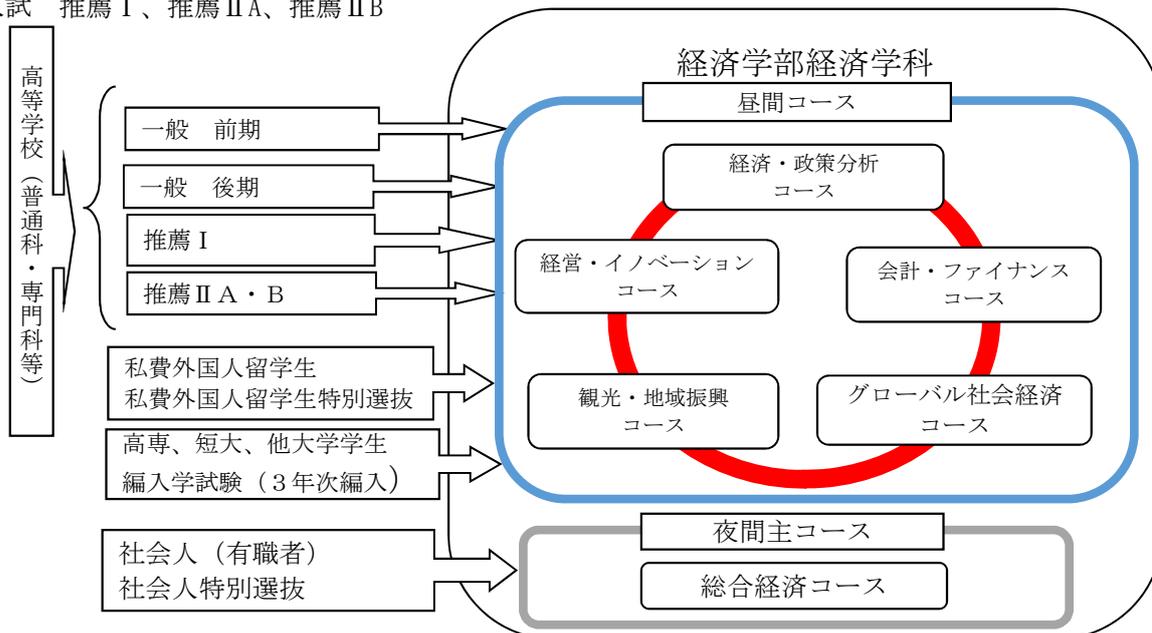


図5 概念図 改組後の経済学部経済学科の構成

Ⅲ. 夜間主コース

(1) 設置の趣旨・必要性

経済学部昼間コースの改組と同時に、夜間主コースでも、1コース総合経済コースを開設する。その理由・背景を下記に挙げる。

1. 社会人教育の現状

(社会人教育課程の現状)

香川大学経済学部では、昼間の勤務と両立しながらの学修を希望する有職社会人に対して有益な学修環境を提供している。経緯として、本学商業短期大学部の廃止に伴い、商業短期大学部が果たしてきた地域の社会人に対する教育機会の提供を継承し平成8年4月に設置されたものである。

(現行)

[学生募集人員]

経済学部(夜間主コース)

経済学科	6人
経営システム学科	8人
地域社会システム学科	6人
計	20人

社会人教育においては、特定の分野の専門知識だけではなく、経済(経営)学分野の広汎な知識が求められており、さらに、企業等の実務面から、法学に関する知識が求められていたことから、夜間主コースにおいては、個々の学生のニーズに応じて他学科の科目を広く受講できるよう配慮するとともに、法学部の夜間主コースとの間で相互科目提供を行ってきた。

また、放送大学の科目認定を試験的に実施し、社会人学生の勤務時間を踏まえた修学に、利便性を供する試みも行っている。

(社会的需要の現状)

経済学部夜間主コースは、有職社会人の入学に限定していることもあり、就業形態の変化の中で、合格者・入学者数に減少傾向が見られる。受験者数は、一定の倍率を経年で維持しつつも、志願者の中には、従来の有職社会人の定義には必ずしも合致しない者も含まれるようになっているためである。

さらに、放送大学を含めた、高度なメディアやe-learningを利用した教育方法を利用する契機の増加も入学定員の不充足傾向の一因と考えられる。

2. 夜間主コース改組の方針

前述のとおり、夜間主コースはこれまでも学科の壁を低くし、柔軟な教育を行ってきたところである。今回昼間コースが1学科5コース制に改組することに合わせて、夜間主コースについては、「総合経済コース」1コースに統合する。また、社会的需要の変化への対応として、試験的に実施していた放送大学との単位互換を本格的に導入し、有職社会人学生の場所的・時間的便宜性を向上させる。さらに、従前のとおり、昼間コース開講科目も履修を可能とし、時間的便宜性の一助とする。時間的・場所的便宜性の向上を図りつつも、入学時点での学力を担保する必要があることから、夜間主コースの入学定員を20人から10人に削減する。さらに、大学院の入学資格・入学に値する学力を涵養する課程の維持・提供は今後も重要である。

夜間主コースの改組の方針としては、社会人学生の実務面からの需要(教育内容)に応えるとともに、大学院入学レベルの学力を涵養する課程として整備する。

(2) 教育課程編成の考え方・特色

(教育課程編成の基本的な考え方)

有職社会人の実務面にとって必要と考えられる、経済(経営)学分野を、教育内容の基礎として学位(学士(経済学))を担保しつつ、経済(経営)学の多様な領域を幅広く修学できる課程とする。昼間コースの改革は、汎用性を目指す新たな人材像、複眼的思考等の諸能力の育成に主眼を置くものであり、既存の有職社会人教育課程とも整合性をもつ。しかし、実務的必要性の観点から有職社会人教育にとっては必要であるため、昼間コースとは異なり、法学関係科目の提供を行い、より広汎な諸分野を含めた教育課程として、1学科1コース制を採用する。

さらに、近年しきりと見られる専門職大学院を含めた大学院への進学の要望にも応えるため、学位(学士(経済学))の修学を担保するよう、特に経済(経営)学分野の体系的な科目編成と提供を積極的に行う。有職社会人の特性を鑑み、場所的・時間的便宜性を図るため、放送大学科目の単位認定を行う。

(カリキュラムの特色)

経済学部経済学科総合経済コースのカリキュラム構成は下記のとおりとなる。

全学共通科目		学部開設科目				
主題科目	8単位以上	基礎科目(1年次)(6単位以上) 実務に対する広汎性				
学問基礎科目	8単位以上	経済学入門A	経済学入門B	経営学	会計学	法学入門
*1 学問基礎科目中の4単位を放送大学単位認定科目とする。		コース専門科目(1~4年次)(66単位以上) 学位(学士)の担保、広汎な知識・能力の涵養				
大学入門ゼミ	(2単位)	経済学分野 (12科目開設)	経営・会計学分野 (12科目開設)	観光・地域振興 (4科目開設)	法学分野 (13科目開設)	
情報リテラシー	(2単位)	選択科目(1~4年次)(20単位以上)				
外国語 既修外国語	6単位以上	昼間コース開設科目の履修		他大学開設科目の履修(単位認定)		
健康・スポーツ実技	(2単位)	他学部開設科目		卒業要件を超えて履修した科目		
合計	28単位以上	少人数教育科目(4単位必修)				
*2()内の単位は、卒業要件としない。 ただし修得した場合は、卒業要件単位数の単位として認定する。		演習Ⅰ(必修) (3年次 4単位)	演習Ⅱ(選択) (4年次 4単位)	卒業研究(選択) (4単位)		
*3 主題、学問基礎科目及び既修外国語でそれぞれの卒業要件単位数を超えて修得した単位は、卒業要件単位数28単位内の単位として認定する。		合計		96単位以上		

にある履修方法により、社会人学生に対して場所的・時間的便宜性を提供する。

図6 総合経済コースのカリキュラム構成

総合経済コース(夜間主コース)においても、履修指導を手厚く行い、学位の取得を担保する。

(3)選抜方法

[総合経済コース(夜間主コース)]

○ 社会人特別選抜

方法：小論文及び面接、書類審査

対象：本学部が指定する“社会人”の条件を満たす者

募集人員：10人

[参考]

本学部が定める“社会人”の条件(募集要項より一部抜粋)

- (1) 高等学校(中等教育学校を含む。以下同じ。)を卒業した者又はそれと同等以上の学力があると認められる者で、(当該年の)3月31日までに22歳に達し、社会人としての経験を2年以上有する者
- (2) 高等学校を卒業した者又はそれと同等以上の学力があると認められる者で、現に就業し入学後も就業しながら勉学することを確約できる者
- (3) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者で、(当該年の)3月31日までに22歳に達し、社会人としての経験を2年以上有する者
- (4) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者で、現に就業し入学後も就業しながら勉学することを確約できる者
- (5) 高等学校を(当該年の)3月卒業見込みの者で、就職が内定している者又は現に就業している者
- (6) 通常の課程による12年の学校教育を(当該年の)3月修了見込みの者で、就職が内定している者又は現に就業している者

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<p>(昼間コース)</p> <p>全学共通科目 主題科目 8 単位以上、学問基礎科目 6 単位以上、リテラシー科目 4 単位 (情報リテラシー、大学入門ゼミ)、外国語科目 10 単位以上、自由科目 4 単位以上 合計 <u>32 単位以上</u></p> <p>学部開設科目 演習等 10 単位、学部基礎科目 22 単位以上(内訳は、次のとおりとする。経済系 8 単位、経営系 8 単位、統計・調査系 6 単位)、学部専門科目 20 単位以上(内訳は、次のとおりとする。経済・政策分析 4 単位、会計・ファイナンス 4 単位、経営・イノベーション 4 単位、観光・地域振興 4 単位、グローバル社会経済 4 単位)、コース専門科目 20 単位以上、選択科目 20 単位以上 合計 <u>92 単位以上</u></p> <p>昼間コース 総計 <u>124 単位以上</u></p> <p>(夜間主コース)</p> <p>全学共通科目 主題科目 8 単位以上、学問基礎科目 8 単位以上、外国語科目 6 単位以上 合計 <u>28 単位以上</u></p> <p>学部開設科目 演習 1 4 単位、学部基礎科目 6 単位以上、コース専門科目 66 単位以上、 選択科目 20 単位以上 合計 <u>96 単位以上</u></p> <p>夜間主コース 総計 <u>124 単位以上</u></p>	1 学年の学期区分	2 学期 (ただし、各学期を前半及び後半に区分する)
	1 学期の授業期間	15 週(ただし、前半及び後半に区分する)
	1 時限の授業時間	90 分

教育課程等の概要(事前伺い)

(経済学部(昼間コース) 全学共通科目)【既設分】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
主題科目	人生とキャリア	1・2・3前		2		○									兼10	
	小計(1科目)	—	0	2	0	—			0	0	0	0	0		兼10	
	の主題B「現代社会」	歴史のなかの21世紀	1・2前・後		2		○			1	1					兼6
		グローバル社会と異文化理解	1・2前・後		2		○									兼8
		情報とコミュニケーション	1・2前・後		2		○									兼5
		文化と科学・技術	1・2前・後		2		○									兼19
		生命と環境	1・2前・後		2		○									兼12
		人間と健康	1・2前・後		2		○									兼9
	小計(6科目)	—	0	12	0	—			1	1	0	0	0		兼53	
	理解地域C	主題C-講義型科目	1・2前・後		2		○			1						兼12
主題C-実践型科目		1・2前・後		2		○			1	1					兼12	
小計(2科目)		—	0	4	0	—			1	1	0	0	0		兼18	
学問基礎科目	書物との出会い-学問することの喜び	1・2前		2		○			1						兼9	
	自然科学基礎実験	1・2後		2				○							兼1	
	哲学	1・2前・後		2		○									兼2	
	論理学	1・2前		2		○									兼1	
	倫理学	1・2後		2		○			1							
	芸術	1・2前		2		○									兼3	
	心理学	1・2前・後		2		○									兼4	
	社会学	1・2前・後		2		○									兼3	
	教育学	1・2後		2		○									兼1	
	歴史学	1・2前・後		2		○									兼3	
	文学	1・2後		2		○									兼1	
	言語学	1・2前		2		○									兼1	
	法学	1・2後		2		○									兼3	
	政治学	1・2後		2		○									兼1	
	経済学	1・2前		2		○				1						
	経営学	1・2前		2		○				1						
	数学	1・2前		2		○									兼12	
	地学	1・2前		2		○									兼1	
	地学実験	1・2後		2				○							兼3	
	物理学	1・2前・後		2		○									兼8	
	物理学実験	1・2前		2				○							兼3	
	化学	1・2前・後		2		○									兼6	
	化学実験	1・2前		2				○							兼3	
生物学	1・2前・後		2		○									兼5		
生物学実験	1・2前		2				○							兼2		
地理学	1・2前		2		○									兼1		
統計学	1・2前		2		○				1							
情報科学	1・2後		2		○									兼2		
医学	1・2後		2		○									兼12 オムニバス		
看護学	1・2前		2		○									兼5		
小計(30科目)	—	—	0	60	0	—			2	2	0	0	0		兼88	
門大ゼミ入	大学入門ゼミ	1前	2				○		12	5	1					
	小計(1科目)	—	2	0	0	—			12	5	1	0	0			
シテ情報リ	情報リテラシー	1・2前	2			○			1							
	小計(1科目)	—	2	0	0	—			1	0	0	0	0			

全学共通科目	既修外国語(英語)	Communicative English I	1前	2		○		1							兼14
		Communicative English II	1後	2		○		1							兼14
		Communicative English III	2前	1		○		1							兼9
		Communicative English IV	2後	1		○		1							兼9
		Intensive English I	1前	2		○		1	1						
		Intensive English II	1後	2		○									兼2
		Academic English I	3前	1		○									兼3
		Academic English II	3後	1		○									兼3
		小計(8科目)	—	0	12	0	—		1	1	0	0	0		
コミュニケーション科目	初修外国語	ドイツ語 I	1前	2		○									兼3
		ドイツ語 II	1後	2		○									兼3
		ドイツ語 III	2前	1		○									兼5
		ドイツ語会話	2前	1		○									兼1
		フランス語 I	1前	2		○		1	1						兼2
		フランス語 II	1後	2		○		1	1						兼2
		フランス語 III	2前	1		○		1	1						
		フランス語会話 III	2前	1		○		1	1						
		中国語 I	1前	2		○		1	1						兼4
		中国語 II	1後	2		○		1	1						兼4
		中国語 III	2前	1		○									兼4
		中国語会話 III	2前	1		○									兼1
		中国語速修 I	1前	1		○									兼1
		中国語速修 II	1後	2		○									兼1
		中国語速修 III	1後	1		○									兼1
		中国語応用演習 I	1後	1		○				1					
		中国語上級「聴解」	2前	1		○									兼1
		中国語応用演習 II	2前	1		○				1					
		中国語応用演習 III	2後	1		○				1					
		中国語上級「写作」	2後	1		○									兼1
		中国語上級「読解」	3前	1		○		1							
		韓国語 I	1前	2		○		1							兼1
		韓国語 II	1後	2		○		1							兼2
		韓国語 III	2前	1		○		1							兼2
		韓国語会話 III	2前	1		○									兼3
		小計(25科目)	—	0	34	0	—		3	2	0	0	0		
健康・スポーツ実技	健康・スポーツ実技 A I	1・2前	1			○								兼16	
	小計(1科目)	—	0	1	0	—	0	0	0	0	0			兼16	
高学年向け教養科目	高学年向け主要科目	瀬戸内の環境と保全	1・2・3・4後	2		○									兼1
		防災ボランティア講座	1・2・3・4後	2		○									兼2
		防災ボランティア実習	1・2・3・4後	2			○								兼3
		医療と法	1・2・3・4後	2		○									兼2
	小計(4科目)	—	0	8	0	—	0	0	0	0	0			兼8	
	キャリア実践講座	キャリア・デザイン実践講座	1・2・3・4後	2		○									兼1
		小計(1科目)	—	0	2	0	—	0	0	0	0	0			兼1
	英上級	Study Abroad	1・2・3・4前	2		○									兼4
		小計(1科目)	—	0	2	0	—	0	0	0	0	0			兼4
	西洋古典語	ラテン語初歩 I	1・2・3・4前	1		○									兼1
ラテン語初歩 II		1・2・3・4後	1		○									兼1	
ギリシア語初歩 I		1・2・3・4前	1		○		1								
ギリシア語初歩 II		1・2・3・4後	1		○		1								
小計(4科目)	—	0	4	0	—	1	0	0	0	0			兼2		
(経済学部経済学科(昼間コース))【既設分】															
学部基礎科目	経済学入門	1後	2		○		2								
	経済数学入門	1後	2		○		1	1							
	統計学入門	1前	2		○		2								
	経営学入門	1前	2		○			1							
	簿記入門	1前	2		○		1	1							
	経済史入門	1後	2		○			1							
	ミクロ経済学 I	2前	2		○			2							

学部開設科目	専門科目	マクロ経済学Ⅰ	2前		2		○														
		プロゼミナール	2後		2			○													
		小計(9科目)	—	0	18	0	—														
		学科基礎科目	統計学	1後		2		○													
			経済と数学	1前		2		○													
			ミクロ経済学Ⅱ	2後		2		○					1								
			マクロ経済学Ⅱ	2後		2		○					1								
			政治経済学Ⅰ	2前		2		○					1								
			計量経済学Ⅰ	2前		2		○					1								
			経済政策Ⅰ	2前		2		○					1								
			社会政策A	2後		2		○					1								
			財政学A	2後		2		○						1							
			金融論Ⅰ	2前		2		○						1							
		小計(10科目)	—	0	20	0	—														
		経済学科開設科目	政治経済学Ⅱ	2後		2		○													
			経済政策Ⅱ	2後		2		○													
			社会政策B	2前		2		○													
			財政学B	2前		2		○						1							
			金融論Ⅱ	2後		2		○						1							
			計量経済学Ⅱ	2後		2		○						1							
アジア経済論	2後			2		○						1									
応用ミクロ経済学	3後			2		○							1								
応用マクロ経済学	3前			2		○							1								
数理経済学	3			2		○							1								
福祉経済論Ⅰ	3前			2		○								1							
福祉経済論Ⅱ	3後			2		○								1							
国際経済学A	3前			2		○								1							
国際経済学B	3後			2		○								1							
経済統計学A	3前			2		○								1							
経済統計学B	3後			2		○								1							
特別講義	2・3・4前・後			2		○															
個別演習	4通			4			○							8	5	0	0	0			
小計(18科目)	—	0	38	0	—																
他設学科	他学科開設科目	3		2~4																	
小計(合計科目数へは反映していない)	—	0	20	0	—																
業演習・卒	演習	3通	4				○							8	4						
卒業論文	4通	4					○							8	5						
小計(2科目)	—	8	0	0	—																
選択科目	(特)海外研修	1前・後		2				○						1							
	現代経済社会事情	2前・後		2			○							1							
	インターンシップ	3通		2					○					1							
	上記以外の全学科共通で提供される科目	—		2~4					○												
	他大学との間で単位互換科目	—		2~4					○												
	検定試験の結果による単位認定科目	—		2~4					○												
小計(3科目)	—	0	6	0	—									3	0	0	0	0			
(経済学部経営システム学科(昼間コース))【既設分】																					
学部基礎科目	経済学入門	1後		2		○								2							
	経済数学入門	1後		2		○								1	1						
	統計学入門	1前		2		○								2							
	経営学入門	1前		2		○									1						
	簿記入門	1前		2		○								1		1					
	経済史入門	1後		2		○									1						
	ミクロ経済学Ⅰ	2前		2		○									2						
	マクロ経済学Ⅰ	2前		2		○									2						
	プロゼミナール	2後		2			○								3	3					
	小計(9科目)	—	0	18	0	—															
学部基礎科目	経営戦略論A	1後		2		○									1						
	原価会計論	1後		2		○									1						

	学 科 基 礎 科 目	経営学原理	2後	2		○			1											
		現代企業論	2前	2		○			1	1										
		リスクと保険	2後	2		○														
		経営組織論A	2前	2		○				1										
		マーケティング論A	2前	2		○					1							兼1		
		流通システム論A	2後	2		○				1										
		会計学総論	2前	2		○					1									
		管理会計論	2前	2		○				1										
		小計(10科目)	—	0	20	0	—		4	5	0	0	0	0	0	0	0	兼1		
学 部 開 設 科 目	専 門 科 目	経 営 シ ス テ ム 学 科 開 設 科 目	人的資源管理論A	2前	2		○				1									
			経営学史	2後	2		○				1									
			経営史	2後	2		○					1								
			環境システム論	2後	2		○				1									隔年開講
			商品システム論	2	2		○				1									隔年開講
			資源エネルギー論	2前	2		○				1									
			企業と社会	2前	2		○					1								
			経営組織論B	2後	2		○					1								
			経営戦略論B	2前	2		○					1								
			マーケティング論B	2後	2		○				1									
			消費者行動	2	2		○													兼1
			経営統計学	2	2		○						1							隔年開講
			人的資源管理論B	3	2		○					1								
			保険システム論	3前	2		○					1								
			商品実験	3後	2		○					1								
			経営財務論	3前	2		○						1							
			調査データ分析	3前	2		○							1						隔年開講
			国際経営論	3後	2		○						1							
			流通システム論B	3前	2		○					1								
			中小企業経営論	3前	2		○						1							
			株式会社社会計	3前	2		○					1								
			監査論	3後	2		○					1								隔年開講
			原価計算論	3後	2		○						1							隔年開講
			コストマネジメント論	3後	2		○					1								
			サービス・マーケティング論	3後	2		○						1							隔年開講
			個別演習	4通	4				○			8	7							
		小計(26科目)	—	0	54	0	—		8	7	1	0	0	0	0	0	0	兼1		
	他 設 学 科 科 目	他学科開設科目	3		2~4															
		小計(合計科目数へは反映していない)	—	0	20	0	—		0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	業 演 習 文 卒	演習	3通	4			○		8	9										
		卒業論文	4通	4			○		8	7										
		小計(2科目)	—	8	0	0	—		16	16	0	0	0	0	0	0	0			
	選 択 科 目	(特)海外研修	1前・後	2				○	1											
		現代経済社会事情	2前・後	2			○		1									オムニバス		
		インターンシップ	3前・後	2				○	1											
		上記以外の全学科共通で提供される科目	—	2~4			○													
		他大学との間で単位互換科目	—	2~4			○													
		検定試験の結果による単位認定科目	—	2~4			○													
		小計(3科目)	—	0	6	0	—		3	0	0	0	0	0	0	0	0			
(経済学部地域社会システム学科(昼間コース))【既設分】																				
	学 部 基 礎 科 目	経済学入門	1後	2		○			2											
		経済数学入門	1後	2		○			1	1										
		統計学入門	1前	2		○			2											
		経営学入門	1前	2		○				1										
		簿記入門	1前	2		○			1		1									
		経済史入門	1後	2		○				1										
		ミクロ経済学I	2前	2		○				2										
		マクロ経済学I	2前	2		○				2										
		プロゼミナール	2後	2			○		3	3										

		小計 (9科目)	—	0	18	0	—	6	7	1	0	0			
学部開設科目	学科基礎科目	観光学概論	1前		2		○	1							
		政治学概論	1後		2		○	1							
		文化社会論	1前		2		○	1						オムニバス	
		人間論	2後		2		○	1							
		日本社会経済史	2後		2		○		1					兼1	
		社会と言語	2前		2		○								
		まちづくり論	2前		2		○		1						
		外国語演習Ⅰ	2後		2		○				1				
		エコツーリズム論	2前		2		○		1						
		小計 (9科目)	—	0	18	0	—	5	2	1	0	0	兼1		
学部開設科目	専門科目	地域社会システム学科開設科目	言語学概論	2		2		○						兼1	
			異文化間コミュニケーション論	2前		2		○		1					
			文化人類学	2		2		○			1				隔年開講
			ヨーロッパ社会経済史	2後		2		○							兼1 隔年開講
			ヨーロッパ社会論	2後		2		○		1					隔年開講
			ヨーロッパ文化論	2		2		○			1				隔年開講
			ヨーロッパ思想史	2		2		○		1					隔年開講
			アジア社会論	2		2		○		1					隔年開講
			アジア文化論	2前		2		○			1				隔年開講
			アジア経済論	2後		2		○		1					
			現代フランス研究	2		2		○		1					隔年開講
			中国文化論	2		2		○		1					隔年開講
			現代韓国・朝鮮研究	2前		2		○		1					隔年開講
			アメリカ社会論	3後		2		○		1					隔年開講
			観光政策論	3後		2		○		1					隔年開講
			観光と政治	3前		2		○		1					
			観光文化論	3後		2		○							兼1 隔年開講
			芸術観光論	3		2		○							兼1 隔年開講
			観光英語	3		2		○		1					隔年開講
			比較近代化論	3後		2		○			1				隔年開講
			外国語演習Ⅱ	3前		2			○		2				
			外国語会話Ⅰ	3後		2			○						兼2
			外国語会話Ⅱ	3前		2			○						兼2
			外国語会話Ⅲ	3後		2			○						兼1
			ビジネス英語Ⅰ	3前		2			○						兼1
			ビジネス英語Ⅱ	3後		2			○						兼1
			個別演習	4通		4			○	7	3				
		小計 (27科目)	—	0	56	0	—	8	4	1	0	0	兼9		
	他開設科目	他学科開設科目	3		20										
	小計 (合計科目数へは反映していない)		—	0	20	0	—	0	0	0	0	0			
	業演習・卒	演習	3通	4			○	6	3						
	卒業論文	4通	4				○	7	3						
	小計 (2科目)		—	8	0	0	—	13	6	0	0	0			
目教職科	選択科目	(特) 海外研修	1前・後		2			1							
		現代経済社会事情	2前・後		2		○	1							
		インターンシップ	3前・後		2			1							
		上記以外の全学科共通で提供される科目	—		2~4		○								
		他大学との間で単位互換科目	—		2~4		○								
		検定試験の結果による単位認定科目	—		2~4		○								
	小計 (3科目)		—	0	4	0	—	3	6	0	0	0			
目教職科	商業教育法	商業教育法	2前		2								兼1		
		商業授業研究	2後		2								兼1		
		小計 (2科目)		—	0	6	0	—	3	0	0	0	0		
合計 (229科目)			—	28	471	0	—	26	20	3	0	0	兼265		
学位又は称号			学士 (経済学)	学位又は学科の分野				経済学関係							

教育課程等の概要 (事前伺い)																
(経済学部 (夜間主コース) 【既設分】)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
全学共通科目	主題科目	歴史のなかの21世紀		2		○			1	1				兼1		
		グローバル社会と異文化理解	1・2前・後	2		○										
		情報とコミュニケーション	1・2前・後	2		○										
		文化と科学・技術	1・2前・後	2		○										兼1
		生命と環境	1・2前・後	2		○										兼5
		人間と健康	1・2前・後	2		○										兼1
	小計 (6科目)	—	0	12	0	—			1	1	0	0	0	兼8		
	学問基礎科目	哲学	1・2前・後		2		○			1					兼1	
		倫理学	1・2前・後		2		○									
		心理学	1・2前・後		2		○								兼3	
		社会学	1・2前・後		2		○								兼1	
		歴史学	1・2前・後		2		○								兼1	
		文学	1・2前・後		2		○								兼1	
		政治学	1・2前・後		2		○								兼1	
		数学	1・2前・後		2		○								兼1	
		地学	1・2前・後		2		○								兼4	
		物理学	1・2前・後		2		○								兼1	
		化学	1・2前・後		2		○								兼3	
		生物学	1・2前・後		2		○								兼1	
		地理学	1・2前・後		2		○				1					
		情報科学	1・2前・後		2		○								兼1	
	医学	1・2前・後		2		○							兼4			
	看護学	1・2前・後		2		○							兼5			
	小計 (16科目)	—	0	32	0	—			2	0	0	0	0	兼28		
	コミュニケーション科目	大学入門ゼミ	1前		2			○		1						
		情報リテラシー	1後		2		○			1						
		英語 I	1前		2			○						兼1		
英語 II		1前		2			○						兼1			
英語 III		1後		2			○						兼1			
健康・スポーツ実技		1・2前・後		2				○					兼1			
小計 (6科目)	—	0	12	0	—			1	1	0	0	0	兼4			
(経済学部経済学科 (夜間主コース) 【既設分】)																
基礎科目	経済学入門 A	1後		2		○				1						
	経済学入門 B	1前		2		○				1						
	経営学	1前		2		○					1			兼1		
	会計学	1前		2		○						1				
	法学入門	1前		2		○								兼1		
	小計 (5科目)	—	0	10	0	—			0	2	1	0	0	兼2		
経済学科科目	数理経済学	2・3・4前・後		2		○				1						
	統計学 A	2・3・4前・後		2		○			1							
	統計学 B	2・3・4前・後		2		○			1							
	経済統計	2・3・4前・後		2		○			1							
	経済政策	2・3・4前・後		2		○			1							
	社会政策	2・3・4前・後		2		○			1							
	福祉経済論	2・3・4前・後		2		○				1						
	国際経済学	2・3・4前・後		2		○			1							
	財政学	2・3・4前・後		2		○				1						
	金融論	2・3・4前・後		2		○				1						
	特別講義	2・3・4前・後		2		○			1							
小計 (11科目)	—	0	22	0	—			7	4	0	0	0				
	経営学原理	2・3・4前・後		2		○				1						
	現代企業論	2・3・4前・後		2		○				1						

専門科目	経営システム学科科目	リスク・マネジメント論	2・3・4前・後	2		○		1															
		環境システム論	2・3・4前・後	2		○		1															
		人的資源管理論	2・3・4前・後	2		○			1														
		経営管理論	2・3・4前・後	2		○			1														
		経営戦略論	2・3・4前・後	2		○			1														
		流通マーケティング論	2・3・4前・後	2		○				1													
		生産管理システム論	2・3・4前・後	2		○															兼1		
		企業会計A	2・3・4前・後	2		○			1														
		企業会計B	2・3・4前・後	2		○			1														
		特別講義	2・3・4前・後	2		○			1	1													
		小計 (12科目)	—	0	24	0	—		5	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼1	
		他学科・法学科目	地域社会システム学科科目	日本社会経済史	2・3・4前・後	2		○			1												兼1
	ヨーロッパ社会経済史			2・3・4前・後	2		○																兼1
	人間論			2・3・4前・後	2		○			1													
	観光学			2・3・4前・後	2		○				1												
ヨーロッパ文化論	2・3・4前・後			2		○				1													
政治文化論	2・3・4前・後			2		○			1														
アジア文化論	2・3・4前・後			2		○				1													
言語文化論	2・3・4前・後			2		○			1														
地域活性化論	2・3・4前・後			2		○			1														
特別講義	2・3・4前・後			2		○																兼1	
小計 (10科目)	—	0	20	0	—		4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼2			
学科共通法学科目	国際関係論	国際関係論	2・3・4前・後	2		○															兼1		
		政治史	2・3・4前・後	2		○																兼1	
		行政学	2・3・4前・後	2		○																兼1	
		アジア・太平洋社会論	2・3・4前・後	2		○																兼1	
		商法総則・商行為法	2・3・4前・後	2		○																兼1	
		会社法Ⅰ	2・3・4前・後	2		○																兼1	
		会社法Ⅱ	2・3・4前・後	2		○																兼1	
		保険法	2・3・4前・後	2		○																兼1	
		民法Ⅰ	2・3・4前・後	2		○																兼1	
		民法Ⅱ	2・3・4前・後	2		○																兼1	
		租税法	2・3・4前・後	2		○																兼1	
		社会保障法	2・3・4前・後	2		○																兼1	
		労働法	2・3・4前・後	2		○			1													兼1	
		小計 (13科目)	—	0	26	0	—		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼11	
演習・卒業研究	演習Ⅰ	演習Ⅰ	3通	4		○		1															
		演習Ⅱ	4通	4		○		1															
		卒業研究	4通	4		○		1															
		小計 (3科目)	—	4	8	0	—		3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
(経済学部経営システム学科(夜間主コース)【既設分】)																							
基礎科目	経済学入門A	経済学入門A	1後	2		○			1														
		経済学入門B	1前	2		○			1														
		経営学	1前	2		○					1											兼1	
		会計学	1前	2		○						1											
		法学入門	1前	2		○																兼1	
		小計 (5科目)	—	0	10	0	—		0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼2	
経営システム学科科目	経営学原理	経営学原理	2・3・4前・後	2		○			1														
		現代企業論	2・3・4前・後	2		○			1														
		リスク・マネジメント論	2・3・4前・後	2		○			1														
		環境システム論	2・3・4前・後	2		○			1														
		人的資源管理論	2・3・4前・後	2		○				1													
		経営管理論	2・3・4前・後	2		○				1													
		経営戦略論	2・3・4前・後	2		○				1													
		流通マーケティング論	2・3・4前・後	2		○				1													
		生産管理システム論	2・3・4前・後	2		○																兼1	
		企業会計A	2・3・4前・後	2		○			1														
		企業会計B	2・3・4前・後	2		○			1														
		特別講義	2・3・4前・後	2		○			1														

専門科目		小計 (12科目)	—	0	24	0	—	5	6	0	0	0	兼1	
	地域社会システム学科科目	日本社会経済史	2・3・4前・後		2		○			1				兼1
		ヨーロッパ社会経済史	2・3・4前・後		2		○							
		人間論	2・3・4前・後		2		○		1					
		観光学	2・3・4前・後		2		○			1				
		ヨーロッパ文化論	2・3・4前・後		2		○			1				
		政治文化論	2・3・4前・後		2		○		1					
		アジア文化論	2・3・4前・後		2		○			1				
		言語文化論	2・3・4前・後		2		○		1					
		地域活性化論	2・3・4前・後		2		○		1					
		特別講義	2・3・4前・後		2		○							
		小計 (10科目)	—	0	20	0	—	4	4	0	0	0	兼2	
	他学科・法学科目	経済学科目	数理経済学	2・3・4前・後		2		○		1				
		統計学A	2・3・4前・後		2		○		1					
		統計学B	2・3・4前・後		2		○		1					
経済統計		2・3・4前・後		2		○		1						
経済政策		2・3・4前・後		2		○		1						
社会政策		2・3・4前・後		2		○		1						
福祉経済論		2・3・4前・後		2		○			1					
国際経済学		2・3・4前・後		2		○		1						
財政学		2・3・4前・後		2		○			1					
金融論		2・3・4前・後		2		○			1					
	特別講義	2・3・4前・後		2		○		1						
	小計 (11科目)	—	0	22	0	—	7	4	0	0	0			
学科共通法学科目	国際関係論	2・3・4前・後		2		○							兼1	
	政治史	2・3・4前・後		2		○							兼1	
	行政学	2・3・4前・後		2		○							兼1	
	アジア・太平洋社会論	2・3・4前・後		2		○							兼1	
	商法総則・商行為法	2・3・4前・後		2		○							兼1	
	会社法Ⅰ	2・3・4前・後		2		○							兼1	
	会社法Ⅱ	2・3・4前・後		2		○							兼1	
	保険法	2・3・4前・後		2		○							兼1	
	民法Ⅰ	2・3・4前・後		2		○							兼1	
	民法Ⅱ	2・3・4前・後		2		○							兼1	
	租税法	2・3・4前・後		2		○							兼1	
	社会保障法	2・3・4前・後		2		○							兼1	
労働法	2・3・4前・後		2		○							兼1		
	小計 (13科目)	—	0	26	0	—	0	0	0	0	0	兼12		
演習・卒業研究	演習Ⅰ	3通	4				○		1					
	演習Ⅱ	4通		4			○	1						
	卒業研究	4通		4			○	1						
	小計 (3科目)	—	4	8	0			2	1	0	0	0		
(経済学部地域社会システム学科 (夜間主コース) 【既設分】)														
基礎科目	経済学入門A	1後		2		○		1						
	経済学入門B	1前		2		○			1					
	経営学	1前		2		○			1				兼1	
	会計学	1前		2		○								
	法学入門	1前		2		○							兼1	
	小計 (5科目)	—	0	10	0	—	1	2	0	0	0	兼2		
地域社会システム学科科目	日本社会経済史	2・3・4前・後		2		○			1				兼1	
	ヨーロッパ社会経済史	2・3・4前・後		2		○								
	人間論	2・3・4前・後		2		○		1						
	観光学	2・3・4前・後		2		○			1					
	ヨーロッパ文化論	2・3・4前・後		2		○			1					
	政治文化論	2・3・4前・後		2		○		1						
	アジア文化論	2・3・4前・後		2		○			1					
	言語文化論	2・3・4前・後		2		○		1						
	地域活性化論	2・3・4前・後		2		○		1						
	特別講義	2・3・4前・後		2		○								兼1

専門科目	経済学科科目	小計 (10科目)	—	0	20	0	—	4	4	0	0	0	兼2	
		数理経済学	2・3・4前・後		2		○			1				
		統計学A	2・3・4前・後		2		○		1					
		統計学B	2・3・4前・後		2		○		1					
		経済統計	2・3・4前・後		2		○		1					
		経済政策	2・3・4前・後		2		○		1					
		社会政策	2・3・4前・後		2		○		1					
		福祉経済論	2・3・4前・後		2		○			1				
		国際経済学	2・3・4前・後		2		○		1					
		財政学	2・3・4前・後		2		○			1				
		金融論	2・3・4前・後		2		○			1				
	特別講義	2・3・4前・後		2		○		1						
	小計 (11科目)	—	0	22	0	—	7	4	0	0	0			
	他学科・法学科科目	経営システム学科科目	経営学原理	2・3・4前・後		2		○			1			
			現代企業論	2・3・4前・後		2		○			1			
リスク・マネジメント論			2・3・4前・後		2		○		1					
環境システム論			2・3・4前・後		2		○		1					
人的資源管理論			2・3・4前・後		2		○			1				
経営管理論			2・3・4前・後		2		○			1				
経営戦略論			2・3・4前・後		2		○			1				
流通マーケティング論			2・3・4前・後		2		○			1				
生産管理システム論			2・3・4前・後		2		○						兼1	
企業会計A			2・3・4前・後		2		○		1					
企業会計B			2・3・4前・後		2		○		1					
特別講義	2・3・4前・後		2		○		1							
小計 (12科目)	—	0	24	0	—	5	6	0	0	0	兼1			
学科共通法学科目	学	国際関係論	2・3・4前・後		2		○						兼1	
		政治史	2・3・4前・後		2		○						兼1	
		行政学	2・3・4前・後		2		○						兼1	
		アジア・太平洋社会論	2・3・4前・後		2		○						兼1	
		商法総則・商行為法	2・3・4前・後		2		○						兼1	
		会社法Ⅰ	2・3・4前・後		2		○						兼1	
		会社法Ⅱ	2・3・4前・後		2		○						兼1	
		保険法	2・3・4前・後		2		○						兼1	
		民法Ⅰ	2・3・4前・後		2		○						兼1	
		民法Ⅱ	2・3・4前・後		2		○						兼1	
		租税法	2・3・4前・後		2		○						兼1	
社会保障法	2・3・4前・後		2		○						兼1			
労働法	2・3・4前・後		2		○						兼1			
小計 (13科目)	—	0	26	0	—	0	0	0	0	0	兼11			
演習・卒業研究	演習	演習Ⅰ	3通	4			○			1				
		演習Ⅱ	4通		4		○		1					
		卒業研究	4通		4		○		1					
		小計 (3科目)	—	4	8	0	—	2	1	0	0	0		
合計 (190科目)			—	12	386	0	—	26	20	3	0	0	兼58	
学位又は称号		学士 (経済学)			学位又は学科の分野			経済学関係						